

も どうし

議会だより

No.18

平成25年4月1日発行
山梨県道志村議会

日本一の水源の郷をめざす道志村



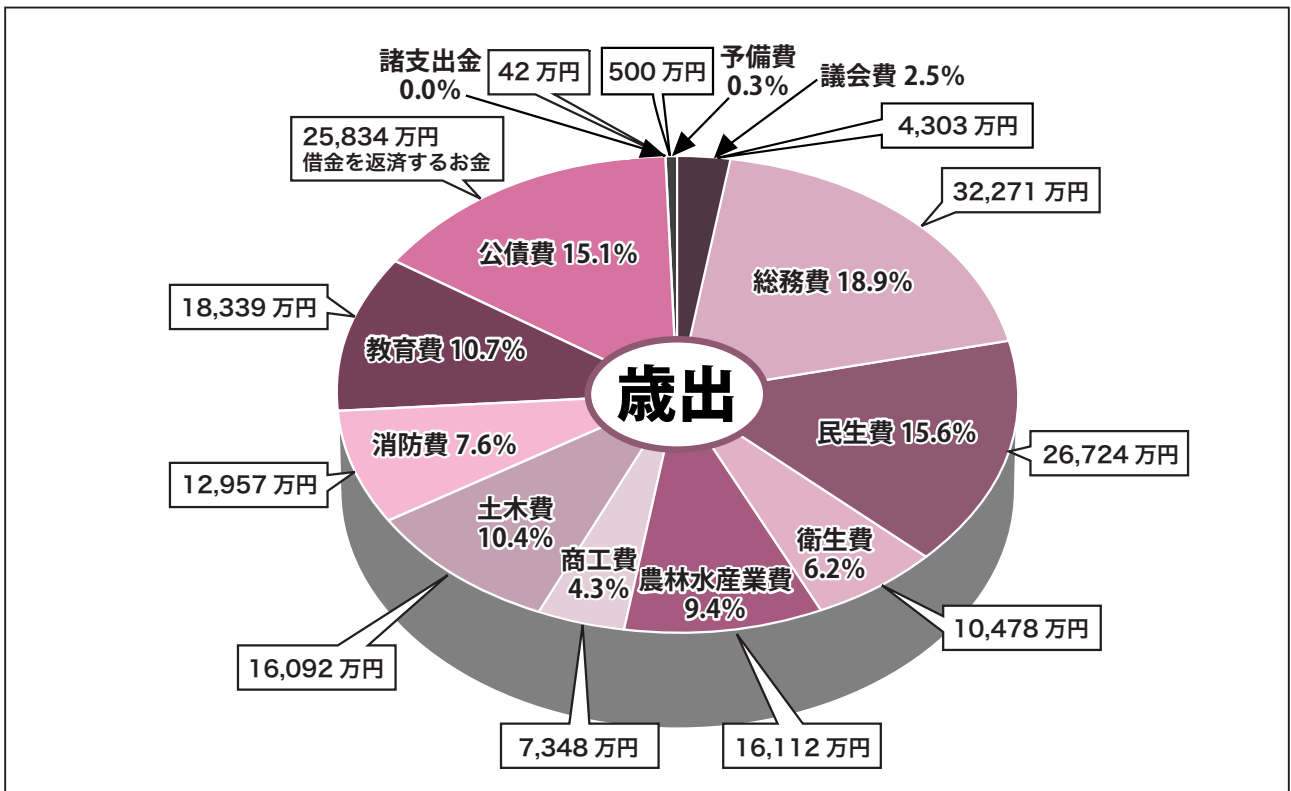
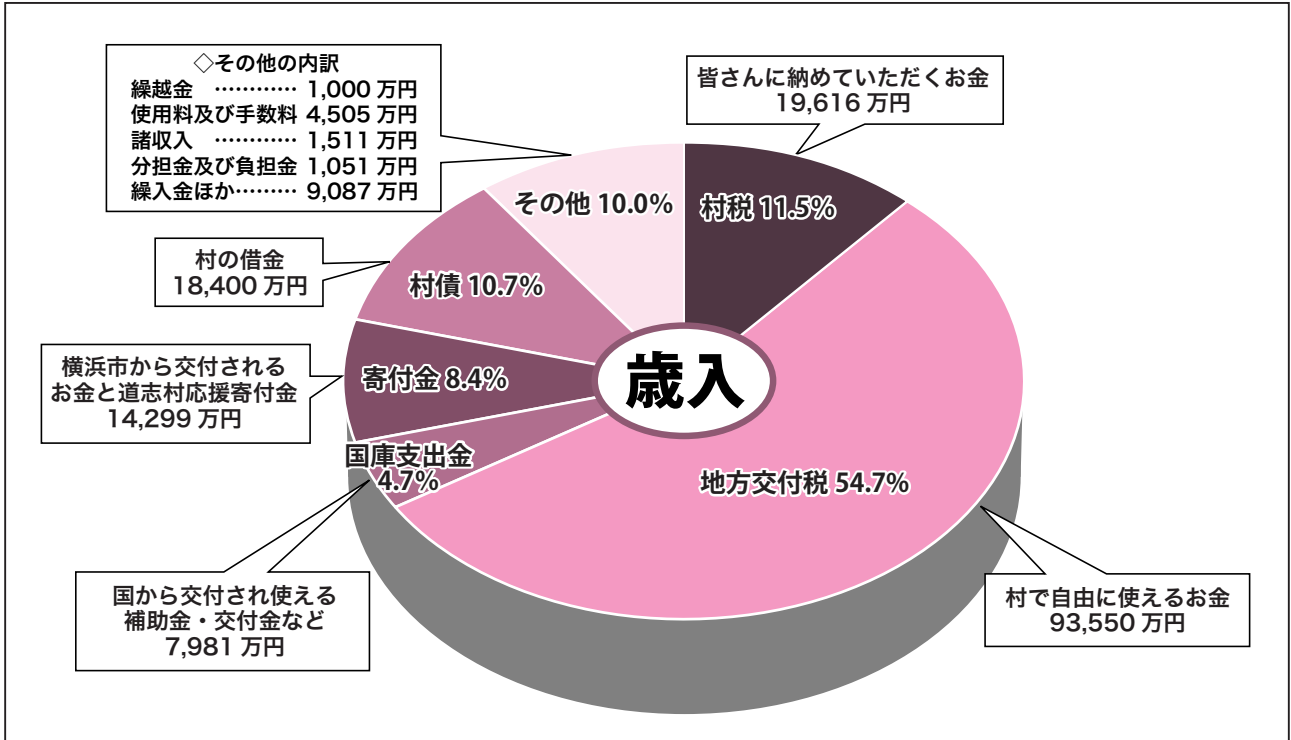
保育所の退所おめでとうございます

- 25年度予算の内容 P2～3
- 一般質問（これが聞きたい） P4～11
- あの一般質問は・今（地域防災計画は） P16
- 紹介／がんばる人紹介 P17～18

みなさまの声を議会に

TEL : 0554-52-2112 FAX : 0554-52-2572 E-mail : gikai@vill.doshi.lg.jp

17億1,000万円



※数値は万円単位に調整してあります。

平成25年度

一般会計予算

一般会計予算の主な事業は

総務費	ふるさとづくり事業、地域おこし協力隊事業、戸籍住民基本台帳作成 税務徴収、選挙等
民生費	介護、社会福祉、老人福祉、障害者福祉、保育所、児童健全育成事業、 子育て支援事業等
衛生費	保険総務、予防接種、すこやか子育て医療費助成事業、ふれあいサロン、 老人保健事業、環境保全（ゴミ・し尿・汚泥処理）等
農林水産業費	農業振興（土砂崩壊防止施設・農道工事・防火水槽設置等）、地籍調査、 林業振興（路網整備等）、林道維持、林道開設調査費等
商工費	商業・観光業への補助金、R413フェスティバル（D1グランプリ等）、 ほたる祭り、遊歩道改修工事、三里塚整備等
土木費	道路維持（村道・橋梁の維持・修繕等）、景観計画策定、村営住宅管理、 耐震調査、浄化槽への補助金等
消防費	常設消防署員の報酬、消防団活動費、消防団施設整備・管理防災施設整備事 業（防災備蓄倉庫設置・防災備蓄品整備）等
教育費	義務教育振興（村担教諭・ALTの配置、スクールバス運行等） 学校管理費、給食費、やまゆりセンターへの太陽光発電の設置等
公債費	償還金、利子及び割引料

平成25年度予算総括表

会計名	25年度予算額	24年度予算額	前年度比	
一般会計	17億1,000万円	17億7,500万円	△ 3.7%	
特別会計	国民健康保険	3億0,025万円	2億8,846万円	4.1%
	国民健康保険診療所	1億3,310万円	1億2,517万円	6.3%
	簡易水道事業	1億2,326万円	6,151万円	100.4%
	介護保険	1億9,910万円	2億1,114万円	△ 5.7%
	介護保険サービス事業	134万円	150万円	△10.7%
	浄化槽事業	1億2,036万円	8,499万円	41.6%
	後期高齢者医療	4,493万円	4,888万円	△ 8.1%
会計	26億3,234万円	25億9,665万円	1.4%	

Q 縦割り行政の弊害は



出羽和 議員

出羽

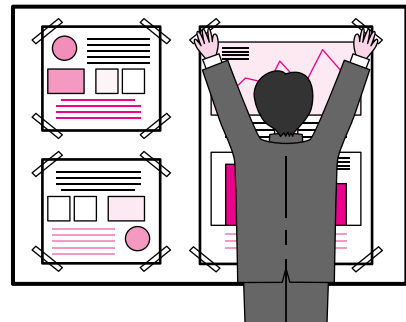
縦割り行政の弊害と
言われている問題です
が、報告、連絡、相談な
ど、報、連、相活動を行
い横のつながりを持つ
て情報を共有し政策を
進める必要があると思
うが、例えば、農村災害
対策事業で決まってい
た防火水槽設置事業が、
総務行政グループの所
管する事業に変更され
たのはなぜか、そのプ
ロセスと変更理由は。

A 横のつながりを
強化

村長

行政目標を達成する
ために、最少の経費で
最大の効果を挙げる、
こうした基本をもって
行政運営に努めている
ところであります。ご
指摘のように、縦つな
がりのシステムも横つ
ながりのシステムも双

方とも長所短所があり、
完全な組織が存在しな
いといわれる中で、短
所を極小化させる中で、
双方の長所を生かすこ
とが求められるシステ
ムが必要と考えており
ます。本村の組織体制
を、縦割りの中で横の
つながりをとるために
職員レベルでの調整会
議とか、プロジェクト
を多く取り入れての横
のつながりを強化する
などを行っています
が、まだまだ指摘され
るような状況もありま
す。今後、本組織体制の
中で、短所を埋めてい
く努力をしていかなけ
ればならないと考えて
おります。



A 住民の強い要望
にこたえるため

総務課長

事業の経過と理由に
ついて、平成24年度当
初予算において、防火
水槽2基を消防防災施
設整備事業の補助金に
て整備を予定しており
ました。しかしながら、
東北への復興予算に回
していく旨の連絡を受

けまして、6月議会に
おいて補助事業の見送
りをお願いしておりま
す。その後、担当レベル
としては、2年前から
住民の要望が強くあっ
たということで、何と
か早く実現したいと思
っておりまして、適当
な補助制度はないのか
調べを進めておりまし
た。その中で10月末、国
の経済対策地域活性化
予備費を活用した消防
防災施設整備事業が、
追加要望としてできる

た。多少負担率は高い
が、比較的有利な消防
防災補助の事業の中で、
年度内で整備したほう
が、村の利益にかなう
ものと判断しました。
わずかの期間の中で間
に合わせるため、地域
から要望のあった大室
指と野原地区の案件を
取り上げました。

と県からの連絡があり
ました。その際、この事
業においては、平成24
年度中に行えば、村負
担25%で実施できるが、
25年においては、本事業
の採択が難しく、平成
26年度においては、補
助率が50%になるとい
うことで、できるだけ
前倒しをして実施の方
向で進めるよう、県の
アドバイスもありまし

その後、1月の測量
設計、2月の入札、請負
契約で現在工事中であ
り、繰り越しの手續に
よって、5月の完成を
予定しているところで
あります。ご指摘のと
おり、横軸調整に欠け
た事務処理でありまし
た。今後はこのような
ことが起きないように、
横軸の調整をしっかりと
強化してやっていく所
存であります。

「再質問あり」

Q 平成25年度の 森林整備事業は



長田達義 議員

長田

森林整備について、以前質問した答弁の中で「本村としても積極的に取り組んでいきたい」との事でした。

平成25年度に向けて、森林環境税を活用した森林整備事業をどのように計画しているか。

A 森林組合と調整中

産業振興課長

この事業を実施するに当たってはご承知のとおり、林班の2分の1以上の面積の森林所有者の同意や50㎡以上の搬出等の諸要件があります。本村も、平成25年度において事業が実施できるよう、現在候補地として白井平地区をあげまして、森林組合と相談しているところです。いずれにしても、

しても、森林所有者の理解、協力がなければ事業が取り込めませんので、村としても情報収集を行い、森林整備を推進していきたいと考えます。

Q 作業道及び路網の整備状況は

長田

山林資源の保全整備のため、現在までに作業道及び路網を何路線、総延長は何メートル整備したか、又、この作業道及び路網を使用してどのくらいの材積を搬出したか。

A 林道22路線、50km開設

産業振興課長

森林からの木材の効率的かつ継続的な搬出には、林内道路の整備が不可欠であります。

林道台帳から林道につきましては、22路線、総延長5万901mを開設しています。路網については、現在まで11路線、総延長4,442mの整備であります。また、25年度におきましても予算額500万円、延長1,000mを予定しております。路網の整理により搬出される材木につきましては、主に道志の湯のまきボイラーの燃料として利用しています。

Q 横浜市施設の譲渡は

長田

横浜市スポーツ広場は、横浜市から譲渡されるが、その譲渡内容及び譲渡後の活用方法は。

A 横浜市スポーツ広場が村に移譲

総務課長

野外活動センターのキャンプ場は廃止され渡されます。スポーツ広場に関しましては、村の施設として交流人口をふやすため、交流活動の拠点となるよう、今後考えていきたいと考えております。移譲の事務処理は、今月中を予定していきまして、4月1日より村の管理になります。来年度は、必要最小限度の修繕を

行い、管理業務ができる状況を確保した上で、交流活動に適した団体等の管理協力も視野に入れて、本格的な整備に向けた作業を、地域住民参画のもとで進めていきたい。

「再質問あり」



山伏作業道



横浜市スポーツ広場

Q ふるさと納税の 状況と活用は



杉本秀明 議員

杉本
ふるさと納税制度に
ついて、その後の状況
と活用は。

A 寄附金262万
円の用途決まる

会計管理者

制度創設から5年が
経過しました。

平成25年2月28日現
在で、延べ25名の方々
から、総額約262万
円の寄附がありました。
寄附金が一定規模にな
ったことから、平成25
年度において、次の事
業を実施します。

- ① 独居老人、高齢者世帯に対し、医科歯科診療所への無料送迎、配食等の車両購入費180万円。
- ② 小中学校へ集会、イベント用テント購入費40万円。

③ NPO道志・森づくりネットワークの活動を行うための運搬車両や集材機の購入資金の補助として40万円。



Q クリーンエネルギー
政策の取り組みは

杉本

本村も新エネルギー政策の研修などを積み重ねていますが、今後のクリーンエネルギー政策の取り組みは。

A 3つの基本的な
考え方を推進

村長

今後の基本的な考え方

- ① 再生可能エネルギーの転換を長期的に進める。エネルギーの地産・地消を図る。
- ② 災害時の避難所の電気、熱などのエネルギー供給システムの構築。
- ③ 行政が日常生活に影響を及ぼさない形での節電、省エネへの取り組みの推進、そのための啓発、情報提供等を行う。

また、道志の湯の熱源として木質バイオマスボイラーの整備、電気自動車の急速充電器、電気の見える化などの先行する取り組みとともに、整合性を図りながら、進めていく。

Q 吊り橋等の
安全対策は

杉本

村内にあるトンネルや吊り橋の保守点検や安全対策は。



電気自動車

A 定期的に
保守点検実施

産業振興課長

村内の国道・県道にある3本のトンネルについて県に状況確認をしたところ、漏水等の補修済みや照明などの附属物の点検作業を、現在実施中。

昨年、野原、久保両吊り橋について点検した結果、赤さび、腐食等が発生しているため、改修のための事業費を、平成25年度当初予算に予算計上している。

今後、定期的な保守点検等を計画して、安全対策を図っていく。「再質問あり」



久保吊り橋

Q 新エネルギー政策の 基本方針は



大田博文 議員

大田

本村は、地域資源を活用した持続可能な村づくりに取り組んでいますが、この政策において自然エネルギーの項目である太陽光発電、風力発電及び水力発電に対する政策をどのように進めていくのか。

先日視察研修を行った長野県飯田市では、太陽光発電の普及率が45%との事です。これに対し本村が目指している「新エネルギー政策の基本方針」は。

A 太陽光発電を

公共施設に

村長

発電可能な3種類についてお答えをさせていただきます。太陽光発電については、日照時間の多い公共施設に順次設置し、余剰電力の売電を考慮してお

ります。平成25年度には、水源の郷やまゆりセンターに約400平米規模での設置が考えられるところであり、小水力発電につきましても、現在候補地8カ所の簡易調査を行い検討をしているところですが、水利権、流量、落差等を考慮する中で、発電電力の量が少ないため、電力の使用方法和あわせて、今後検討を行っていきたいと考えます。次に、

風力発電につきましても、現在のところ検討するところまでは至っておりませんが、現在、非常用備蓄倉庫に設置されているような、小型の簡易的なものについて検討を行い、公共施設の街灯電力等に活用できたらと思っております。いずれにしても、本村の地形、自然環境や地域資源を利

活用した再生可能エネルギーの創出を行うための、国・県の動向を踏まえた中で、経済性の面から設置コスト、維持コスト等についてもしっかりと検討を行い、事業を推進したい。



太陽光パネルを計画している水源の郷やまゆりセンター施設

Q 福祉センターの 防災管理体制は

大田

福祉センターで火災等が発生したとき、周辺に民家が無いので、職員だけで初動体制をとることが想定されるが、防火管理体制は。

A 定期的避難、 救出訓練実施

住民健康課長

福祉センターの防火管理体制でございますが、施設に火災報知機を設置されていて、半年に1度は点検を委託しております。スプリンクラーは設置されておりません。福祉センターが組織しております自衛消防隊組織表をもとに、総括班、情報収集班、防護措置班、避難誘導班、応急処置班、消火班、救護班に分かれ、

防火の初動体制に必要な自衛組織を編成しております。

次に、避難訓練等についてでございますが、福祉センターにおいては、年2回の防災訓練を実施することになっております。地震や火災で一番予想されることは、パニック状態になってしまうことです。もしものときに、慌てず、あせらないよう、日ごろから職員同士で声をかけ合い、一朝有事に対処できるような訓練を行っております。非常災害時の関係機関への通報及び連携体制を整備しつつ、定期的に職員の教育訓練を徹底し、今後も防災計画に基づき、定期的避難、救出、その他必要な訓練を実施していきます。

「再質問あり」

Q 道の駅どうしと 道志の湯の経営は



山口勝也 議員

山口勝也

「道の駅どうし」は、(株)どうしに指定管理
制度により委託経営
していますが、そこで
道志の湯を含め次の4
点について質問します。
①、道の駅どうしの経
営形態を組織図等で示
し、役員構成と報酬を
公開して頂きたい。
②、村に対しての委託
料の実績を過去2年間
出して頂きたい。また、
決算書の公開はあるか。
③、道志の湯は、昨年4
月に約1億1千万円か
けて施設を改築し、リ
ニューアルオープンし
たが、成果についてお
尋ねします。
④、道志の湯の経営方
針について組織票など
で示して頂きたい。ま
た、決算書も公開して
頂きたい。

A 指定管理者制度 で赤字削減

産業振興課長

道の駅どうし及び道
志の湯の両施設につ
きましては、株式会社ど
うしを指定管理者とし
て、管理運営を委託し
ています。

ご質問1点目としま
して、「株式会社どう
し」から他の業者に、現
在において業務委託等
はありませんので、組
織図等もございません。
役員構成としまして
は、取締役社長は道志
村長、専務取締役は富
士急行より出向してお
ります。取締役は道志
村産業振興課長、監査
役は道志村総務課長、
天野会計事務所となっ
ています。役員報酬に
つきましては、無報酬
ですが、専務取締役に
は給与が支給されてい
ます。

と、2千万円弱が減額
改善されています。

4点目としまして、道
志の湯の運営及び経営
方針は、指定管理者で
あります「株式会社ど
うし」が直接行ってい
ます。

「再質問あり」

道志の湯収支の比較

単位：円

22年度収入	29,682,000	24年度収入(見込)	55,000,000
22年度支出 燃料費(内数)	54,142,000 (17,319,000)	24年度支出(見込) 燃料費(内数)	60,000,000 (9,600,000)
計	-24,462,000	計	-5,000,000



道の駅どうし

Q 地場産業センター の現状は



山口博康 議員

山口博康

富士吉田市にある地場産業施設は、道志村も負担金を支出しているが、この施設は今のようになっているのか。

A 社会状況の変化 で解散

会計管理者

ご指摘のとおり、本村からも運営費負担金として40万円を毎年度支払って、郡内地域の産業振興に寄与してまいりました。しかしながら、利用者が激減し、施設も老朽化してきたことから、本年3月31日をもちまして当該施設、当該財団法人を解散することが理事会で決定されました。施設につきましては、県に譲渡することになっております。

Q 内水面漁業の 振興策は

山口博康

観光資源の溪流釣りは、近年は不漁ですが、漁業組合と協力して、企業庁との交渉等により、前の道志川を取り戻し観光振興につなげるべきでは。

A 大学の協力を得て 漁業組合と連携

村長

不漁の原因として、鳥類の食害等、また、台風や集中豪雨により、魚の住みやすい環境が破壊されている箇所があり、村では、漁業協同組合と対策を進める中



清流道志川

で、できるだけ自然環境を考慮した復旧を山梨県に要望していきたいと考えております。

また、東京海洋大学で淡水養殖魚等の研究を専門としている奥山教授に、3月から道志川の状況、魚の成育状況等について、調査をしていただくことになっております。調査結果については、関係機関と協議を行い、奥山教授の指導を受けながら、改善策を検討していきたいと考えております。神奈川県企業庁につきましては今後も必要に応じて協力要請を行っていききたいと思っております。

Q 公共工事の推進は

山口博康

本村も公債比率を5.7%まで下げましたが、国政方針に沿って公共事業を推進すべきと考えます。しかし、際限のない起債はすべきではないので、より有利な起債を当て景気浮揚に貢献すべきです。25年度の公共事業の主なもの及び前年との比較等基本的な考えは。

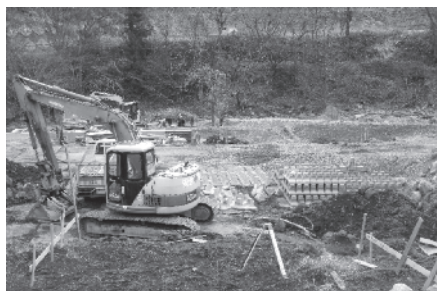
A 25年度は2倍の 投資額に

村長

公共工事の推進についてのご質問でございますが、本村としては、補正に関しては1億6千万円の大型補正を組んでおります。また、来年度は3.7%の減額予算となりましたが、公共工事業業費ベースで本

年度と来年度を比較してみますと、関連する村内への総額投資額は、平成24年度が4億9千万円に対し、平成25年度は10億7千万円となり、およそ2倍の投資額となっております。その主な事業として、農村災害対策整備事業、中山間地域総合整備事業、林道富士東部南線開設事業などがあります。

「再質問あり」



戸渡地内工事現場

Q 文化の保存と継承は



山口 力 議員

山口力

「日本で最も美しい村」連合における文化の保存と継承について。道志村は、昨年10月に日本で最も美しい村連合へ加盟しましたがその中に、地域資源が2つ以上あることが条件となっています。

失ったら二度と取り戻せない日本の農山村の景観、文化を守る活動がその基本となっています。道志村の地域資源としては、道志七里、おきゅうだいの様になっていきます。今回は文化の面について伺います。おきゅうだいは神地の伝統芸能で、無形民俗文化財に指定され、年に数回、地元を初めとして公演しています。また、川原畑では、同じく無形民俗文化財である神楽舞を川原畑お祇園祭りに、地区全戸で舞っています。

ほかに竹之本で神楽舞をしています。こうした文化を守り継承し、それを後世に残していくには、長期的展望に立って考えていく必要があると思います。そのような支援体制はとれないか伺います。



神地おきゅうだい

A 組織的な支援体制の構築

教育長

昨年、的確におきゅうだいの、道志七里の3つの地域資源をもちまして、日本で最も美しい村に加入させていただきました。長期的な展望に立ち、このような文化を守り継承していくための組織的な支援体制の構築は、持続可能な村づくりにおいて、大変重要な課題だと考えております。現段階で検討していることは3つ、有形文化財保護への支援、無形文化財保護への支援、それから継承する若い世代への支援ということ。村の文化財を県の文化登録に向けての検討も支援と考えています。道志村全体を視野に入れ、一つの地域だけで進めるのではな

「再質問あり」

く、できることならば村全体でつなげていく方法も、一つの手段だと思っております。美しい村連合では、5年に1度の審査があるようですので、道志村の美しい景観と相まって、今以上に高い評価を受けられるようにと思っております。



川原畑の神楽舞

Q 村道谷相～岩瀬線の改修は



佐藤 定三 議員

佐藤

通常、村道谷相～岩瀬線は、地域住民の生活道路として使用されていますが、河川の氾濫及び前回の国道崩壊等により通行止めが発生した際、迂回路、緊急道路として重要な村道であると考えます。

現状を見ると、谷相から保育園裏、境沢にかけて村道が急な上り坂になり、高くなっており、水はけが悪く谷相地区の住宅地や保育園に危険がおよぶ恐れがあります。

住民の安全・安心を守るため、全国的に防災について検討されており、村道についても早期対策が必要と考えます。

村道の高所箇所を現状より低くして、雨水等の流れを分散化する側溝の整備が必要であると考えるが、村当局

の考えと今後の対応についてお尋ねします。

A 25年度で一部排水改良実施

産業振興課長

本路線は、議員の言われるとおり、地域住民の生活用道路として利用されているほか、



保育園裏道路

一昨年の台風による国道の路肩崩壊時には、迂回路として利用され、渋滞が発生したものとされます。また、この地区は、住宅地であり保育所がありますので、防災対策としても緊急性があると考えられているところです。ご質問にありました本線

の谷相から境沢にかけて急な上り坂となつていますが境沢を村道が横断しているため、この位置を下げての、道路勾配の修正による雨水等の分散処理は困難であるものと考えられますので、保育園の裏で本路線に接続する、キノコ沢線の路面水を途中で境沢線に排水し、本路線の流量を減少するための改良、さらには、両村道の接続箇所の土留め壁の改良排水路での対策も考えられますので、平成25年度予算に土留め壁の整備予算を計上しているところであります。また、境沢の水路につきましても、農村災害対策整備事業にて、村道より下流域を整備する計画もあります。現在村では、地域防災計画の見直し、土砂災害ハザードマップを作成中であ

りますので、村道のみならず、地域全体の状況等を考慮した、事前防災対策も合わせて検討する必要があります。考えられますので、国の示す事前防災減災のための国土強靱化の推進事業にて、取り込める事業等があります。進めてまいります。

「再質問あり」



保育園入口付近

動 報 告

森林再生シンポジウムに参加

平成25年 1月19日

横浜市において道志村・道志森林再生協議会主催の森林再生シンポジウムが行われ、林野庁の課長補佐、山梨森林環境課長、横浜市水道部長さんなど参加の中、国内森林の現状と問題点について講演がありました。今後村の森林をどのように、有効活用して、森林再生、整備をしていくのか研究する必要があると感じました。

議員全員参加



北アルプス広域連合の視察研修

平成25年 1月22日



山梨県東部広域連合は、都留市、大月市、上野原市、道志村、小菅村及び丹波山村の3市3村の構成市町村で組織されています。

主な仕事は、東部地域における広域的な事業の推進、上野原市にある「養護老人ホームの管理運営」、「介護認定審査会・障害者認定審査会」の運営等を行なっています。

広域連合議会では今年、1月22日に長野県の北アルプス広域連合に視察研修に行ってきました。

大田議員参加

新エネルギー事業を視察研修

平成25年 2月5～6日

「1日目」

「あいち臨空エネルギー実証研究エリア」にて太陽光、風力発電などの再生可能エネルギーの研修をしました。当村にも活かせるエネルギーは必ずあると感じました。

「2日目」

長野県飯田市で「環境モデル都市飯田」をテーマに挑戦をされた事を研修しました。中部電力との共同事業など数々の取り組みが行われていました。市役所の皆さんお忙しい中ありがとうございました。

議員全員参加



議 会 活

広報編集を研修 (昭和町議会へ) !!

平成25年 2月20日

当議会は昭和町議会広報編集委員会に、研修をお願いしました。

昭和町議会では、平成23年度に町村議会広報全国コンクールの最優秀賞を受賞しています。萩原議長さん広報編集委員の皆さんと研修をさせていただきました。

議会広報の課題や改善点について質疑応答が交わされました。今後、読みやすく、分かりやすく、親しまれる「議会だより」の発行を目指し努力してまいります。(議会改革についても研修をさせていただきました。)

昭和町の議会皆様お世話になりました。

議員全員参加



グランパファーム秦野視察

平成25年 3月13日



行政と議会で秦野市の(株)グランパに行き、「グランパファーム秦野」の水耕栽培を見学してきました。

四角型植物工場とドーム型植物工場の2種類が有り、特にドーム型植物工場の栽培方式は画期的なものでした。

ドーム内は完全管理されていて、生産日数は約40日間サイクルで出荷されている。少人数で軽作業、無農薬の理想的な水耕栽培です。これからの、農業は進化していきます。

道志村の農業も地域に合った栽培方法を考え発展していかなければと思った。 議員全員参加

トンネルバイパス化の今

平成25年 3月18日

道志村念願のトンネルバイパス化が地域住民の皆様のご協力をいただきまして、測量がおこなわれました。

おおよその図面が出来上がり、地元の皆様に順次説明会が開かれています。今後も住民の皆様のご利便性に合う素晴らしいトンネルバイパスが出来るように努力します。



議案の質疑

平成25年第2回道志村議会定例会は3月5日から15日までの11日間の会期で開きました。本定例会で行った、平成25年度当初予算の質疑結果の一部紹介します。



平成25年度の予算編成方針は、村長選挙があることから準骨格予算として、一般会計では前年度当初予算比で3.7%減の総額17億1,000万円の予算となりました。

Q 住民のための重点施策は、予算にどのように反映されているか

最優先課題として、2つの県営事業において「安心・安全な村づくり」対策を進める。

- 農村災害対策整備事業において、土砂崩落防止施設などを実施……予算2億5,000万円
- 中山間地域総合整備事業において、農道、営農飲雑用水などを実施…予算4億7,500万円

A 防災対策は、最優先課題である「安心・安全な村づくり」対策事業を進める。

- 地域住民の安全確保を図るための農村災害対策整備事業 ……予算25,000万円
- 広域常設消防無線のデジタル化事業 ……予算9,503万円
- 備蓄倉庫、救急及び防災ヘリポートなどの整備 ……予算1,059万円
- 防災意識の高揚を図るための事業 ……予算250万円
- 住民の安心・安全を確保する消防団活動事業 ……予算1,100万円

A 子育て支援は、引き続き充実、継続していく

子育て環境を地域で考える

- つぼみっこくらぶ事業の充実 ……予算66万円
- 学童保育の充実を図る ……予算522万円
- 保育所運営の充実を図る ……予算4,620万円
- 15歳以下の子供を対象に、すこやか子育て医療費助成の継続 ……予算714万円
- 乳幼児、児童、生徒に対する予防接種事業 ……予算463万円
- 小児救急センター利用の小児救急医療事業として ……予算122万円

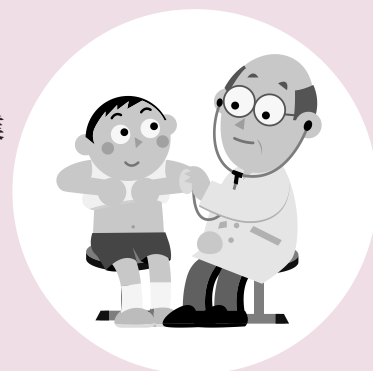
A 福祉・介護対策は、村単独の新規事業も創設して充実を図る

- 介護福祉士など福祉資格取得者へ助成（限度額5万円） ……予算25万円
- 介護している家族への介護慰労金支給事業 ……予算144万円
- 介護サービス向上事業 ……予算額21万円
- 身の周り支援としての支え合い人材バンク事業 ……予算60万円
- テレビ電話によるにっこりコールなど住民生活に光をそそぐ事業…予算346万円



**A 保健・医療は、住民の健康増進を図るため、
各種の健診事業を推進する**

- 生活習慣病健診などのいきいき健康村どうし健診事業
予算721万円
- 不妊治療の一部助成を行う、不妊症治療費助成事業
予算60万円



A 教育の充実は、未来を担う子供たちに日本一の教育を進めていく

- 小学校・中学校への村単教員の配置 ……予算670万円
- 外国語教育のためのジェット教員の配置 ……予算429万円
- 高校生57名への就学助成金支給 ……予算684万円
- 国民文化祭は、道志ならではの事業を3本柱で開催 ……予算155万円
- 学校スクールバス委託事業の継続 ……予算4,130万円
- 郷土伝統芸能の保存伝承支援 ……予算83万円
- 大学連携事業の充実 ……予算93万円

秋開催予定

A 生活環境の整備は、暮らし向上を図るための事業を推進する

- ゴミ処理を行うための委託事業 ……予算3,930万円
- 太陽光発電設置、まきストーブ、生ゴミ処理機への助成 ……予算100万円
- 地域景観の保全・復元を図るための景観計画 ……予算590万円
- 定住促進を図るための村営住宅の管理運営 ……予算297万円
- 美しい地域であり続けるための「日本で最も美しい村連合」事業 ……予算99万円

**A 産業振興は、圏央道・国道バイパス化などのインフラ整備により
ポテンシャルは高い。**

- 県営中山間地域総合整備事業 ……予算4億7,500万円
- サステナブルな事業を農林業再生、自然エネルギー活用、地域コミュニティの
3つの柱で推進 ……予算494万円（計画・企画予算）
- 都市住民に村おこしを協力してもらい、地域おこし協力隊事業予算 ……1,150万円
- 観光ルートを整備する登山道、遊歩道の整備事業 ……予算273万円



あの一般質問は今・・・

平成23年6月定例会

質問

地域防災計画は妥当か見直しをする必要があると思うが

答弁

災害を最小限に食い止める考えで、各種対策事業を重点化していく

平成23年9月定例会

質問

在宅介護に対する助成制度について

答弁

助成や現行の支援策も含めて何が出来るか検討する

その結果今は

平成25年度予算で防災無線の点検、防災備蓄倉庫、非常用発電機2機の工事が決まる。又、防災グッズも6月に各戸配布決定。自主防災組織の設立支援に取り組む。



在宅介護をしている家族に月額一万円の慰労金を支給する。(要介護4, 5)



議会の考え

防災対策は必要不可欠です。あらゆる手段を検討します。

家族などの在宅看護の負担軽減はまだ必要です。

村のちから 青年団

道志村青年団顧問 佐藤 栄さん

紹介
しょうかい

青年団

私達青年団は、少人数ながら道志村で祭りや村の行事ごとなどを行っています。

団員皆、道志村を愛し道志村を守り発展させていきたいという気持ちで頑張っています。青年団最大の行事はなんと言っても、道志村夏の大イベント納涼盆踊り大会です。毎年の祭りを通して祭りに来て頂いた村の皆さんの笑顔を見ると、本当にうれしく思い、次も頑張ろうと気が引き締まります。これからも「まつり」の灯を絶やさぬように皆さんと、より良いものを作っていきたいと思います。毎年村の皆さんには、多くの寄付金を頂き青年団一同本当に感謝しています。村の皆さんの協力なしに青年団だけでは祭りは成功出来ません。今後ともご協力お願い致します。

その他にも小さな行事から村の行事の手伝いなどを微力ながら頑張っています。これからも道志村青年団は道志村の発展に全力で取り組んでいきます。

村から離れてしまう若者が増加している中こうした行事を通じて一人でも多くの若者を村に残していけるようにも努めていきます。それから、道志村青年団は随時団員を募集しています。道志村を愛する若者同士力を合わせて一緒に頑張ってみませんか？

新団員の加入を団員一同心よりお待ちしております。

道志村青年団に皆様のご理解ご協力をお願い致します。

団員構成

団 長	佐藤 淳
団長補佐	山口 祐輝
会 計	渡辺 翼
副 団 長	池谷 拓真
副 団 長	山口 圭
団 員	山口 勝太
団 員	渡辺 淳平
団 員	池谷 秀樹
団 員	山口 竜一
団 員	池谷 収
団 員	金子 大成
団 員	山口 拓也
団 員	佐藤 壮馬
団 員	杉本 長彦
顧 問	佐藤 栄



交通事故を無くし 安全運転の村を目指して



大月交通安全協会
道志支部長 佐藤剛直さん

日頃、交通安全協会に御協力いただき有難うございます。近年、村内において交通事故が多発しております。国道413号線は、都市へのアクセスも便利な為、交通量も多くなっている他県車のドライバー、二輪車のライダーなど、道路状況の把握が出来ない状態で、スピードを出し衝突事故や接触事故を起こしています。我々安全協会は、そのような事故を未然に防ぐために、街頭指導、カーブミラーの設置及び清掃、道路上障害となる木、枝などの排除等、又村内イベントに対する交通整理など、役場、大月警察署と連携して活動しています。これからも、村内の交通安全のために、安全協会一丸となり、活動していく所存です。皆様の、安全運転に対する御協力をよろしくお願いいたします。



写真募集中 (議会だよりに掲載させていただきます。)

広報常任委員会

委員長 杉本 秀明
副委員長 山口 力
委員 出羽 和平
委員 佐藤 定三



3月定例会を5日(15日)まで開会し25年度の重要な予算などを審議しました。議会も重要事業を中心に、村民の皆様、そして道志村の発展を願いつつ、協議しました。国も経済成長を中心に色々な政策をし、徐々に結果もできています。いずれにいたしましても、景気が良くなり、一人ひとりの生活が安定向上するよう願う所です。春の暖かさを日一日と感じる季節になりました。健康に留意され頑張ります。

(杉本秀明)

編集後記